
すきクライ

遥風 覇鵠渡

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
すきキライ

【Nコード】
N0772F

【作者名】
遥風 霸鵬渡

【あらすじ】
ヒロは、今日もお母さんに好き嫌いを注意される。

「コラッ！ ヒロちゃん、好き嫌いしないのっ！」

「ええええっ！ だって、こんな赤いの気持ち悪いよおっ」

くるくるパンチパーマのお母さんが、好き嫌いの激しいヒロを叱っている。

「何言ってるの！ 赤いから栄養があるんじゃないっ。太陽をさん浴びて、ちゃんと育つたのに粗末にするなんて許しません！」

鬼その者の、お母さんの顔を見て、ヒロは嫌々フォークで赤い物を二つにわけける。

中からは、どろっと変な物が飛び出してきた。

「だって気持ち悪いじゃんっ！ 何っ、このドロドロっ」

ヒロの悲鳴に、お母さんはますます目元をキツくする。

「うるさいわねえええっ、そこが栄養なんじゃない！ わかったら、さっさと食うっ」

ヒロは、げっそりしながらナイフでそれを一口サイズに切り分けると、フォークで突き刺して口の中へ放り込んだ。

何とも言えない酸味と渋味……ヒロは、うえっと吐き出したいのをこらえる。

独特の食感が堪らなく気持ち悪い。

もう勘弁して……と上目遣いで見てみても、お母さんはジロリって完食する事を促す。

「もうやだよおうっ！ お父さんは食べてないじゃんっ」

「お父さんはいいのっ！ 寝てるんだからっ」

ヒロの必死の抵抗は、敢えなく丸めこまれた。

「じゃあさっ、煮ようよっ！ 僕、生なんて食べられない！」

ヒロの申し出を聞いたお母さんは、両のコブシでテーブルに衝撃を加えた。

「生がいいんじゃない！ 新鮮でっ」

低いお母さんの声に完敗して、ヒロは皿に目を落とす。ヒロがナイフを動かす度に……皿の上の物は、プチャツ、プチャツと音をたてる。

ヒロとお母さんが食事をしているテーブルの横では、テレビをつけっぱなしのお父さんが、ソファアの上で眠っている。

お父さんの目は、開きっぱなしだ。胸の真ん中あたりが、えぐられた様にヘコンでいて、白いシャツを赤く染めたままにしている。

ヒロはよく目が乾かないな、と思いながらお母さんに尋ねる。

「お父さん、いつ起きるの？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0772f/>

すきクライ

2011年1月27日14時53分発行